

# 大阪歯科大学 兵庫県同窓会報

昭和53年10月30日  
No. 32

発行所 大阪歯科大学兵庫県同窓会  
神戸市生田区山本通5丁目41  
電話 (078) 351-4181  
編集発行人 中森康二



## あいさつ

大阪歯科大学兵庫県同窓会長  
阿部 勉

本日、第5回兵庫県同窓会会員大会を開催しましたところ、会員諸氏ならびに御来賓各位多数の参加を得て感謝している。

この大会は新卒ならびに新入会員の歓迎を兼ねておるので、新しい人生の門出に対しての、一つの言葉を餞として贈りたいと思う。それは「真実を見極める目を養えよ」ということである。大事なことは真実をただ見ることは誰でもできるが、それを見極めることこそ必要である。最近、デパートなどでカジュアルウェアだとかエレガントなブレタポルテなど、よくわからないが宣伝をしているが、一般の人にはよくわからないのだが、若い娘さんはこれにワッと飛びついてくるんだそうである。ブレタポルテとはフランス語でレディメイドということだそうで、注文服はオートクチュールというそうで、ブレタポルテであろうがレディメイドであろうが、真実は同じ洋服である。ムードに弱い女の弱点をとらえて、何か華やかな表現に踊らされておるに過ぎないように思う。これは真実を見極める目を持っていない一面としてとらえることもできるかと思う。しかし、これを大きな声では笑えない側面のあることも確かで、堂々たる紳士でも真実を見分けることのできない人がかなりあるからである。

一例をいうならば、人間はなんでもかんでも平等でなくてはならないと思込んでいる方がかなりある。人間は元来平等ではない。それでは不平等かという不平等でもない。人間坐って半畳、寝て一畳、いくら金持でも千畳敷一杯では寝られない。しかし、人間各自には性格、才能に違いがある。育った環境

が違うと同時に人間も違う。平等であるはずがない。が、平等も真実であると同時に不平等も真実であることに間違いはない。

したがって真実を見極めることは、これを平等即不平等と受取ることである。これは一例であるが相対即絶対といろいろな面がある。詳細に説明するには時間が無いので省略するが、そうしたものを総括したものが「色即是空、空即是色」である。弘法大師は「色は匂えど散りぬるを云々」といっている。人生の無常をいったものである。

人間おのおののところが心得え、懸命に努力した生活を行うことが、人間最高の生涯である。新卒ならびに新入会員諸君。こうした心境に到達するのはもちろん容易なことではない。しかし、生涯をかけて試行してほしいと思う。そして一日も早くしっかりした歯科医観を心の中に培って、何事にも動揺しない人間になっていただきたいと思う。

これは、個人の心の問題であるが、社会全般の現象の世界においても真実を極めることは非常に大事なことである。表面だけでなく側面、裏面もよく見ていただきたい。真実を見極めれば学長の苦心もよくわかるはずである。現在の歯科界の現実を真実を見極めることでよく理解できる筈であり、思想的な単細胞的な批判はあり得ない。

同窓生が何故団結せねばならないかも、このことによってよくわかる筈である。団結のない同窓会こそナンセンスである。強い団結をこそ志向して兵庫県の同窓会の永年の血の通り同窓会をスロガーンとして努力している次第である。これは、各大学の同窓会も同様であって、互いに団結した同窓会同志が手を固く握り合って歯科界の発展をこそ心から願うものである。

(第5回兵庫県同窓会会員大会あいさつより)

## 全国大会へ多数の参加を

### 昭和 52 年度総会開く

大阪歯科大学兵庫県同窓会の昭和52年度の総会は、昭和53年5月29日(日)午後4時から兵歯会館5階ホールにおいて開かれた。

鹿嶋専務理事の司会、竹谷副会長の開会のことばではじまった総会は、議長に竹谷副会長を選出し、議事録署名人には西島郁二(西宮市)、藤山岩男(灘区)の両氏を指名したのち物故会員に対して黙禱を捧げた。

つづいて阿部会長、奥野大歯大同窓会長からそれぞれあいさつがあり、あと、つぎの5名の学位受領者の表彰が行われた。

竹谷三省(津名郡) 西原利和(葦合区)  
名倉義治(姫路市) 橋爪年世(尼崎市)  
伊津進弘(西宮市)

このあと各担当理事から諸報告があり、ひきつづいて議事に入って以下の7議案を可決決定、あとの協議では第5回会員大会、また秋の全国大会への多数の参加を要請して、竹谷副会長の閉会のことばで総会を終了した。

なお当日の報告・議案はつぎのとおり。

#### 8. 報告事項

- イ. 会務報告 鹿嶋専務理事
- ロ. 会計報告 溝井常任理事
- ハ. 本部報告 志築常任理事
- ニ. 渉外報告 浜田常任理事
- ホ. 監査報告 津島監事

#### 9. 議事

- 第1号議案 昭和51年度歳入歳出の決算の承認を求める件
- 第2号議案 昭和52年度事業計画に関する件
- 第3号議案 昭和52年度歳入歳出予算に関する件
- 第4号議案 会費賦課、徴収方法に関する件
- 第5号議案 会則一部変更に関する件
- 第6号議案 会長選任の件
- 第7号議案 監事選任の件

#### 10. 協議事項

- イ. 本年度会員大会に関する件
- ロ. 会員名簿作製について

### 会 務 報 告

大役員会 於 兵歯会館  
昭和52年5月29日(日) 午後3時

総 会 於 兵歯会館  
昭和52年5月29日(日) 午後4時

常任理事会 於 兵歯会館  
昭和52年7月22日(金) 午後7時

県下各歯科大学同窓・校友会懇談会  
昭和52年12月11日(日) 午後5時

常任理事会 於 三ツ輪  
昭和53年4月25日(火) 午後7時

### 事 業 報 告

大歯大同窓会学術研修会  
昭和52年7月30日(土)、31日(日)  
場 所 六甲山ホテル

第4回会員大会  
昭和52年8月27日(土)

場 所 深江埠頭 にちなん丸

参 加 人 員

会 員、家 族	461名
来 賓	16名
新 卒	8名
新 入 会 員	4名
事 務 局	15名
計	504名

### 会 員 数

(9月末現在)

神戸分会	東 灘 支 部	61名
"	灘 支 部	57
"	葦 合 支 部	35
"	生 田 支 部	82
"	兵 庫 支 部	59
"	長 田 支 部	54
"	須 磨 支 部	31
"	垂 水 支 部	31
"	北 支 部	21

神戸分会	明石支部	48名
"	三田支部	9
尼崎分会		132
西宮分会		135
摂津分会	伊丹支部	34
"	川西支部	25
"	宝塚支部	39
"	芦屋支部	31
播磨分会	三木・美囊支部	10
"	小野・加東支部	13
"	西脇・多可支部	12
"	加西支部	11
"	播磨支部	51
"	姫路・神崎支部	116
"	揖童支部	12
"	宍粟支部	6
"	西播・佐用支部	17
丹波分会	多紀支部	8
"	永上支部	16
但馬分会	南但支部	10
"	北但支部	16
"	美方支部	3
淡路分会	洲本支部	13
"	津名支部	9
"	三廻支部	12
合 計		1,219名

出 張

昭和52年4月9日  
大歯大大阪府同窓会総会 (阿部)  
昭和52年4月24日

大歯大京都府同窓会総会 (阿部)  
昭和52年5月21日  
大歯大32回生全国大会 (阿部)  
昭和52年6月12日  
大歯大兵庫県同窓会播磨分会総会 (阿部、鹿嶋)  
昭和52年6月16日  
大歯大兵庫県同窓会神戸分会  
生田支部総会 (阿部)  
昭和52年6月26日  
大歯大滋賀県同窓会総会 (渡部)  
昭和52年7月23日  
東歯大同窓会兵庫県支部総会 (阿部)  
昭和52年8月21日  
大歯大奈良県同窓会総会 (阿部)  
昭和52年9月24日  
大歯大岡山県同窓会総会 (鹿嶋)  
昭和52年11月13日  
大歯大和歌山県同窓会総会 (阿部)  
昭和52年11月19日  
大歯大2回生総会 (山下)  
昭和52年12月29日  
大歯大兵庫県同窓会神戸分会  
垂水支部忘年会 (阿部)  
昭和53年1月24日  
大歯大兵庫県同窓会神戸分会  
生田支部新年会 (阿部)  
昭和53年4月23日  
東歯大同窓会兵庫県支部総会 (阿部)  
昭和53年4月30日  
大歯大京都府同窓会総会 (阿部)

学 位 受 領 者

(順 不 同)

氏 名	卒業回数	地区名	受 領 日
佐藤輝夫	大 11	西宮市	昭和52年6月1日
森寺邦夫	大 13	生田区	昭和52年6月1日
渡辺弘基	大 16	西宮市	昭和52年3月11日
塩見聰	大 19	姫路市	昭和53年3月10日
松村隆司	大 19	生田区	昭和53年3月10日
和久勝彦	大 11	氷上郡	昭和53年3月10日
北村博司	大 6	西宮市	昭和53年3月10日

以上大阪歯科大学



## 第5回 会員大会

大歯大兵庫県同窓会

### 有馬、兵衛、向陽閣で盛大に開催

第5回大阪歯科大学兵庫県同窓会会員大会は、7月15日(土)から16日(日)にかけて、新卒、新入会員歓迎会を兼ねて、西宮分会の当番で県下有馬温泉「兵衛向陽閣」で、会員ならびに来賓を含め約370名が参加して盛大に開催され、兵庫県同窓会の親睦と団結の姿を名実共に対外的に誇示した。

この日は、午後3時より受付が開始され、会員大会(式典)のはじまる午後5時の約1時間前にはほとんど全員が受付登録を済ませ1階ロビーで、あるいは各自の割り当てられた部屋で互に旧交を確かめあっていた。

式典(会員大会)は3階会場で行なわれ、宮井常任理事の司会で進められ、まず永津副会長の開会の言葉につづいて阿部会長のあいさつがあり(阿部会長あいさつの要旨は本紙冒頭に掲載した)、ついで鹿嶋専務理事より来賓紹介、宮井常務より新入会員ならびに新卒生の紹介があって、来賓祝辞にうつった。

(新入会員34名中31名出席、新卒生37名中21名が出席)

#### 【来賓あいさつ要旨】

##### ○奥野大歯大同窓会長

本日の同窓大会は30年余を経過し、古い歴史を持っている。新入会員ならびに新卒の諸君が今回兵庫県同窓会に入られ、諸君の力を国のために尽されることは、まことに榮譽の至りである。ただ一言、西郷南洲の「敬天愛人」を訴えたい。神を敬って人を愛する、これが人間としての最高の道である。知性の通

うったフィルターでもって社会を見て、政治学と社会学を学ぶ、これにより歯科歯師としての知恵を磨いてほしい。知識は大学で学んだであろうが、知恵を磨くのはこんごの切磋琢磨に期すべきである。これが私の願いである。

##### ○多和城西歯科大学長

私も大歯大卒業であり、白数先生ならびに城西の宮田先生の推挙を受けて、この4月から城西歯大の学長に就任させていただいた。私は永年、兵庫県同窓会の一員であった。それで、久しぶりに同窓の先生方とお会いしたいと思って、無理に呼んでいただいたようなわけで、私としては嬉しく存じている。城西に参ってからは、まだ新米であるが、城西の卒業が今年が3年目で、数も非常に少しい若い者ばかりであるので、どうか、先生方のご指導を切望する次第である。

##### ○北山近府県支部会長(代表)

昨年にはちなん丸の船上で瀬戸内海を、一昨年は湯の郷温泉で本大会に参列させていただいた。いつも兵庫県でなくてはならない血の通った会員大会が行なわれているわけで、

# 学 術 講 演 会 (予告)

大阪歯科大学兵庫県同窓会主催による学術講演会を次の通り開催します。

多数御参加下さいますよう御案内申し上げます。

## 記

日 時 昭和54年2月11日(日曜日) 午後1時

場 所 兵庫県歯科医師会館5階講堂

講 師 保 母 須 弥 也 氏

東北歯科大学教授

カリフォルニア大学教授

国際デンタルアカデミー所長

演 題 『現代クラウンブリッジの理論と実際』

しかも極めて絢爛豪華な会員大会であり、それは、いかに執行部と支部と、あるいは支部と会員との連れ合いと団結が固いか、まざまざと拝見でき、心から敬意を表したいと思う。と同時に兵庫県には歯科医政のルーツが脈々と生きていることを強く印象づけられるわけである。

なお、今年の全国同窓会は京都が当番であり、11月12日の日曜日に、京都国際会議場で「友愛と団結」をスロガンに開催するが、会館貸切で行うことにしているので、どうか兵庫県の全会員こそぞってのご参加を、心からお願をしてご挨拶とする。

このあと、新入、新卒代表として溝井啓泰君より「私たちは、この3月に卒業した未熟者であるが、先ほどの諸先輩のご教訓を胸に抱いて、これからデンチストとして、また同窓会々員として恥しくないよう、一生懸命やって行きたいと思っている。どうかよろしくお願したい……。」との謝辞があり、ついで和田当番分会長（西宮分会長）より多数の参加を得たことへの感謝が述べられ、志築次期当番分会長（尼崎分会長）よりはさらに盛大な大会をとの言葉があり、最後に全員起立して高らかに学歌斉唱のあと、小北副会長の閉会のことばで式典を終了した。

ついで、午後6時より会場を2階の大広間に移し、なごやかな懇親会の宴が繰り広げられた。

祝宴は、長浜常任理事の司会で、まず浜田常任理事の開宴のことばのあと、奥野大歯大

【字兵庫宗同窓会々員人云】



同窓会長、阿部兵庫県同窓会長による鏡開きの儀があって、黒住大歯大同窓会副会長の乾杯でなごやかな一時を過ぎ、生内常任理事の閉宴のことばで終了した。

なお、本大会には必ず来賓として参列されていた白数大歯大学長は、当日、どうしてもやむを得ない所要のため欠席されたことを、念のため報告しておく。

来賓参列者（順不同）

（大学関係）

学 長（城西） 多 和 敏 一

（同窓会関係）

会 長 奥 野 半 藏  
副 会 長 （大阪）西 山 幸 男  
" （京都）北 川 正 夫  
" （岡山）黒 住 彦 正  
常 務 理 事 （大阪）村 川 明

（近府県関係）

滋 賀 県 芦 田 佐 仁  
和 歌 山 県 川 崎 武 彦  
岡 山 県（会長代理）木 庭 茂

（近府県支部関係）

和 歌 山 県 久 保 昌 弘  
奈 良 県 吉 田 原 康  
岡 山 県 服 部 久

（各大学兵庫県同窓校友会）

日歯大校友会 塙 吉次郎  
東京医歯大同窓会 船 曳 義 雄  
東歯大校友会 萩 原 貞 雄  
日大歯学部同窓会 梶 英 雄  
京成歯大同窓会 吉 本 二 郎  
阪大歯学部同窓会 山 下 一 寿  
愛知大歯学部同窓会 柳 田 秀 夫

（公務関係）

医 療 専 門 官 笠 原 義 人

新 入 会 員

村 上	齋	(姫 路)
勝 山	篤 信	(伊 丹)
落 合	篤 愛	(灘)
山 田	忠 子	(西 宮)
山 本	泰 生	(西 宮)
宇 川	順 順	(芦 屋)
高 橋	涉 夫	(葦 合)
吉 江	重 利	(灘)
舛 谷	弘 夫	(尼 崎)
神 谷	木 祐	(東 灘)
八 木	裕 裕	(明 石)
増 井	義 博	(加古川)
高 岡	雅 雄	(長 田)
田 中	幸 耕	(尼 崎)
正 重	真 澄	(尼 崎)
野 田	文 文	(北)
太 田	公 夫	(東 灘)
天 羽	二 夫	(西 宮)
高 橋	孝 郎	(宝 塚)
安 倍	正 雄	(姫 路)
長 佐	英 晴	(尼 崎)
花 岡	夫 誠	(姫 路)
大 馬	悟 一	(垂 水)
岡 村	夫 夫	(西 宮)
定 政	規 史	(西 田)
岡 永	光 史	(西 宮)
小 井	敏 伸	(垂 水)
井 上	隆 治	(多 紀)
佐 伴	陽 子	(西 宮)
		(宝 塚)
		(揖 保)

新 卒 業 生

赤 井	亨	(赤 穂)
足 立	了 平	(氷 上)
浅 原	昌 和	(加古郡)
植 田	陽 一	(灘)
大 岡	宏 司	(加古川)
岡 西	浩 一	(生 田)
岡 本	浩 俊	(東 灘)
岡 本	秀 直	(長 田)
岡 井	直 達	(赤 穂)
亀 山	真 和	(氷 上)
片 岡	司 久	(芦 屋)
岸 岸	保 子	(宝 塚)
木 木	昌 一	(東 灘)
浜 木	優 誠	(尼 崎)
斉 志	秀 泰	(西 宮)
白 識	敏 敏	(須 磨)
空 竹	輝 明	(尼 崎)
田 武	昌 博	(明 石)
堤 堤	信 男	(尼 崎)
津 中	昌 隆	(尼 崎)
長 仁	裕 博	(姫 路)
長 谷	信 辰	(葦 合)
藤 益	泰 和	(葦 合)
宮 溝	啓 英	(佐 用)
森 吉	光 章	(尼 崎)
石 上		(兵 庫)
		(須 磨)
		(養 父)
		(長 田)
		(東 灘)
		(西 宮)
		(長 田)
		(東 灘)
		(西 脇)
		(芦 屋)

物 故 会 員 氏 名

地区名	卒業回数	年令	死亡年月日
生田区	専 19	60才	昭和52年4月9日
宍粟郡	専 23	59才	昭和52年5月25日
川西市	専 7	75才	昭和52年6月23日
葦合区	医 専	74才	昭和52年7月7日
姫路市	専 2	80才	昭和52年7月17日
西脇市	専 7	76才	昭和52年9月4日
伊丹市	専 14	65才	昭和52年10月6日
生田区	専 13	67才	昭和52年10月17日
小野市	専 10	71才	昭和52年12月9日
尼崎市	専 13	71才	昭和53年3月15日
姫路市	京 城	59才	昭和53年3月18日

## 昭和52年度大阪歯科大学兵庫県同窓会歳入歳出決算書

歳入金 13,166,932円  
 歳出金 9,989,256円  
 差引剰余金 3,177,676円

## 収入の部

△印減

科 目	決 算 額	予 算 額	増 減	摘 要
第一款 会 費	9,829,400	9,408,000	421,400	
第1項 会 費	9,829,400	9,408,000	421,400	
第二款 雑収入	730,396	631,000	99,396	
第1項 雑 入	55,896	70,000	△ 14,104	
第2項 寄付金	0	1,000	△ 1,000	
第3項 本部手数料	674,500	560,000	114,500	
第三款 繰越金	2,607,136	2,600,000	7,136	
第1項 繰越金	2,607,136	2,600,000	7,136	
合 計	13,166,932	12,639,000	527,932	

## 支出の部

科 目	決 算 額	予 算 額	増 減	摘 要
第一款 事務費	3,479,255	4,300,000	△ 820,745	
第1項 事務費	1,949,000	2,000,000	△ 51,000	
第2項 旅 費	434,400	500,000	△ 65,600	
第3項 通信印刷費	857,160	1,500,000	△ 642,840	
第4項 消耗品費	89,300	150,000	△ 60,700	
第5項 雑 費	149,395	150,000	△ 605	
第二款 会議費	1,325,936	1,700,000	△ 374,064	
第1項 会議費	1,325,936	1,700,000	△ 374,064	
第三款 事業費	5,184,065	5,840,000	△ 655,935	
第1項 学 術 費	640,000	640,000	0	
第2項 広報宣伝費	83,500	200,000	△ 116,500	
第3項 福祉厚生費	1,316,450	2,000,000	△ 683,550	
第4項 表彰慶弔費	981,300	1,000,000	△ 18,700	災害見舞金 30,000 傷病 " 240,000含
第5項 渉外費	2,162,815	2,000,000	162,815	
第四款 予備費	0	799,000	△ 799,000	
第1項 予備費	0	799,000	△ 799,000	
合 計	9,989,256	12,639,000	△ 2,649,744	



## 昭和53年度大阪歯科大学兵庫県同窓会歳入歳出予算書

歳入金 13,943,000円

歳出金 13,943,000円

## 収入の部

△印 減

科 目	本年度予算	前年度予算	増 減	摘 要
第一款 会 費	9,660,000	9,408,000	252,000	月700円×12ヶ月× 1,150名
第1項 会 費	9,660,000	9,408,000	252,000	
第二款 雑収入	1,106,000	631,000	475,000	
第1項 雑 入	70,000	70,000		預金利子
第2項 寄 付 金	1,000	1,000		
第3項 本部手数料	1,035,000	560,000	475,000	9,000円×1,150名× 10%
第三款 繰越金	3,177,000	2,600,000	577,000	
第1項 繰越金	3,177,000	2,600,000	577,000	
合 計	13,943,000	12,639,000	1,304,000	

## 支出の部

科 目	本年度予算	前年度予算	増 減	摘 要
第一款 事務費	4,100,000	4,300,000	△ 200,000	
第1項 事務費	2,000,000	2,000,000		
第2項 旅 費	700,000	500,000	200,000	
第3項 通信印刷費	1,000,000	1,500,000	△ 500,000	
第4項 消耗品費	200,000	150,000	50,000	事務用品
第5項 雑 費	200,000	150,000	50,000	
第二款 会議費	2,000,000	1,700,000	300,000	
第1項 会議費	2,000,000	1,700,000	300,000	
第三款 事業費	6,940,000	5,840,000	1,100,000	
第1項 学 術 費	640,000	640,000		
第2項 広報宣伝費	200,000	200,000		会報発行
第3項 福祉厚生費	2,000,000	2,000,000		会員大会
第4項 表彰慶弔費	1,000,000	1,000,000		
第5項 諸見舞費	800,000	0	800,000	新 設
第6項 渉 外 費	2,300,000	2,000,000	300,000	
第四款 予備費	903,000	799,000	104,000	
第1項 予備費	903,000	799,000	104,000	
合 計	13,943,000	12,639,000	1,304,000	

自然増は予備費へ繰入れ